



<https://www.tutitokaze.com/>

<https://www.instagram.com/koedofarm/>

2022.10.25号



親子で畑で遊ぼう！2022

第7回 10/1

10月1日、朝から空には雲一つなく、絶好のこえどファーム日和。ということは、絶好の運動会日和ということ。いつもなら畑を所狭しと走り回っている子どもたちも、この日ばかりは校庭・園庭を駆け回っていたようです。そんな訳でこの日はいつもより、静かでのんびりとした雰囲気の中でダイコンの種まきからスタートです。まずは畝づくりから。

畝とは野菜の種をまいたり苗を植えたりする時に、畑の土を盛り上げて作った細長い山のことで、畝には高畝、平畝、かまぼこ畝などがあり、畑の性質や育てる野菜に合わせて作り分けます。こえどファームのように水はけの悪い畑では畝を高くします。畝を作っておけば雨が降った時、種や野菜が水に浸かってしまうことがなくなるので、野菜を育てる上では畝づくりは欠かせない作業です。

畝ができたら、リポビタンDの空き瓶で30cm間隔に1~1.5cmの深さに“まき穴”を付けます。種をまく穴のことを“まき穴”と呼び、種のおきかよによって大きさや深さを変えます。まき穴が出来たら種を3粒、三角形になるようにまき、土をかぶせて手でペタペタ押さえます。こうすると種と土が密着して芽が出やすくなります。冬自慢と耐病総太りというダイコンをまきました。

そして最後に防虫ネットをかけます。ダンボールと呼ばれる柔らかな棒を半月状に曲げてうねの脇に等間隔に挿します。次に上から防虫ネットをかけ、ネットの裾に土をしっかりとかぶせて、種まき完了です。



防虫ネットをかけておくと、ダイコンの葉っぱの芯を食べる、その名もダイコンシンクイムシからダイコンを守ることができます。

ニンジンの葉っぱが大好きな生き物と言え？答えはキアゲハの幼虫です。幼虫は食欲旺盛なので、ニンジンの種をまいて芽が出てきたら常に目を光らせ、幼虫を見つけたらすぐに捕まえないとアツと言う間に葉っぱが丸坊主になってしまいます。捕まえた幼虫は、よその畑だと怒られちゃうので、草むらに投げつけてしまうのですが、今回は子どもたちに見せてあげようとケースに入れておきました。お世辞にも可愛いとは言えない姿形ですが、この幼虫がキレイなアゲハチョウになるとは不思議です。みんなで観察した後、育ててみたい子にプレゼントしました。今、畑の幼虫はサナギになっています。このまま冬を越して、春にチョウになります。楽しみです。11月はサナギの観察をしましょう。



ニンニクは種から育てるのではなく、ニンニクの塊をバラバラにした鱗片（ふだんニンニクとして食べているところ）を植えます。10月が植え付け時期なので、いつでも植えられるように、ニンニクを一つずつ鱗片にばらす作業をしました。キレイにばらせたのは良かったのですが、この日を境に雨が続くようになり、未だに植え付けが出来ずにいます・・・。



最後にヒマワリを手に持って記念撮影をして、この日は解散となりました。



11月はいもほりです。お楽しみに。

親子で畑で遊ぼう！2022 第8回

11月12日(土) 10:00~14:00

いもほり、サナギの観察ほか

持ち物：帽子、手袋、長靴、タオル、飲み物、昼食
ハサミ、Myバック

畑をみんなで楽しもう！

秋ナスは嫁に食わずな。言わずと知れた時節の諺である。「秋ナスは美味しいから憎らしい嫁には食べさせてなるものか」「ナスは体を冷やすので大事なお嫁さんには、この時期、食べさせないでおこう」など意味は正反対だが、いつ頃から言われるようになったのか気になって調べている。江戸時代に書かれた毛吹草の『あきなすびよめにくはすな、よめしうとの中よきはもっけのふしぎ』からきているとか、仮名草子似我蜂物語の『秋なすびわささのかすにつけませて嫁にはくれしたなにおくとも』の歌からきているとか。更には、この歌は春雨抄に出ていると書かれた資料も見つけた。今や江戸の書物を足も使わずお金も掛けず調べられるようになったのは本当にありがたいことだが、当時の字を読む訳もなく、根拠に乏しい情報も多くて、なかなか出自にたどりつかない。まっ、難しいことを考えるのはやめて美味しい秋ナスを堪能することにしよう。



ちなみに、秋サバ、秋カマス、秋タナゴ、秋フキ、五月ワラビ、夏タコなども嫁には食べさせないらしい。どちらの意味なのかはあなた次第。

畑でハーブを育てよう！

第6回、畑でハーブを育てよう！はスワッグ（壁飾り）作りです。10月とは思えない程の日差しの中、先ずは畑の様子を見に行きました。この時期は草の勢いも衰え、畑はスッキリしています。千日紅やバタフライピーは今が見ごろです。風船カズラの種からは可愛いハートの顔が出て、思わず笑顔になりました。この後スワッグ作りに取り掛かりました。先ずは土台と生のハーブ、ドライフラワーと三つのスワッグを作ります。レモングラスを三つ編みにし輪にします。生のハーブは花束を逆さにした形にします。ドライフラワーは少し小さめに作り、二つを土台のレモングラスの上に乗せてワイヤーで留めます。最後にワイヤーを隠すようにラフィアやリボン巻き、フックを付けて完成です。同じ材料を使ってもそれぞれ個性が出て、他の人が作ったのを見るのも勉強になると感じました。受講者の皆さんからは、スワッグを作るのが初めての方が多く、ハーブの奥深さを知ったり、体験工房に行った気分が楽しかったとの感想を頂きました。生のハーブの香りに癒されたひとときでした。（原口）



畑でハーブを育てよう！

11月12日（土）10:00~12:00

収穫祭

持ち物：帽子、手袋、長靴、飲み物、マイカップ

11月のこえどファーム

日	月	火	水	木	金	土
		1 畑をみんなで楽しもう	2	3 	4 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	5
6	7	8 畑をみんなで楽しもう	9	10	11 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	12 親子で畑で遊ぼう 畑のハーブを育てよう
13	14 	15 畑をみんなで楽しもう	16	17	18 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	19 順延日
20	21	22 畑をみんなで楽しもう	23	24	25 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	26
27	28	29 畑をみんなで楽しもう	30			

◆編集なんてしてないけど編集後記◆

梅雨よりも秋雨の方が雨が多いのは事実だが今年例年以上に多い。なのに、川越まつりが二日間とも降らなかったなんて超ミラクル。100年分の祈りが届いたようだね。（ま）

発行 特定非営利活動法人 土と風の舎

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 6-14-10

TEL.049-248-9485 FAX.049-248-9486

E-mail.tutitokaze@arion.ocn.ne.jp